

社協だより 萩

Vol. 39

2011
8/1



応援します

見守り・支え合い活動

今、改めて自分たちが住んでいる身近な地域を見つめ直してみましよう。ひとり暮らしの高齢者、高齢夫婦世帯、認知症のある方、地域とつながりが少ない方などが増え、また生活のしづらさを抱えている人がいませんか。

同じ地域に住んでいる住民同士がお互いに支え合い、見守り、地域でつながりを強くすることが求められています。本会では、こうした地域住民の皆さんの活動を応援していきます。

脳に
いいこと

認知症予防教室を始めます



東北大学
川島 隆太教授

9月21日の「世界アルツハイマーデー」にちなみ、県では9月を認知症予防月間としています。認知症予防について各地で様々な活動と研究がされる中、本会では、川島隆太教授、くもん学習療法センターによって開発された教材を用いて、9月から来年2月まで認知症予防教室を行います。

予防は早期に、継続的に

アルツハイマー病や脳血管障害による認知症は、長い時間をかけて脳に病理的な変化をもたらし、発症すると言われています。そのため、予防活動は早期に継続的に行うことが重要とされています。

身体の筋肉は、適度な運動を行うことによって健康を保つことができます。同じように人間の脳は、簡単なトレーニングを適度に行うことで、健康に保つことができます。

脳について

- 1 簡単な計算と読み書きを生活の習慣にする
- 2 人とのコミュニケーションを心がける
- 3 手先を使う生活を習慣にする

脳の司令塔といわれる「前頭前野」の働きを若々しく保つことが、認知症の予防には重要です。

簡単な読み・書き・計算の学習を継続的に行うことで、認知症予防に効果があることが、「大人の脳トレ」でお馴染みの東北大学・川島隆太教授らの研究により明らかになりました。

脳健康楽習会

くもん学習療法センターの教材を用いて、原則、毎週月曜日午前中30分程度、教室に通い、残りの

6日間は自宅で10分程度できる教材をお渡しします。

人前で発表したり、難しい問題を解く勉強会ではありません。スラスラと学習できて、楽しい会話が飛び交う教室だから「学習」を「楽習」といい、脳のトレーニング方法を習い、「習慣」にしたいと考えています。

音読してみよう

書きましよう。

にあてはまる言葉を

岩手県は、北海道につぐ広さがあります。小岩井農場は、自然がゆたかに広がります。明治二十四年、小野、岩崎、井上の三氏が共同で拓き、それぞれの頭文字を名前にしたそうです。



・小野、岩崎、井上が拓いた農場

宿題2

13-25M

教材見本

募集要項

- 参加対象／概ね60歳以上の市民で、要支援・要介護認定を受けていない方
- 定 員／30人（抽選。8月中に参加できる方だけに通知）
- 参 加 費／2,100円／1ヶ月（教材費）
- 実施期間／9月5日から平成24年2月までの毎週月曜日の午前中（年末年始、祝日は休み。お休みも可）
- 会 場／萩市総合福祉センター 研修室

主催・申込み先

萩市社会福祉協議会 ☎0838-22-2289

申込み締切
8月15日(月)まで





4期目を 迎えて

このたびの東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

このような大災害が発生したり、社会情勢が大きく変化する中で、社会福祉協議会に求められる役割もますます重要になってきています。6月30日に2年の任期を終え、引き続き会長に再任され、改めてその重責を感じているところです。

これからも、地域住民の皆さん、社会福祉を目的とする事業の経営者、社会福祉活動を行う方々とともに、地域福祉の推進に努めてまいります。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

萩市社会福祉協議会役員

理	佐伯 政樹	萩地域運営協議会長※	会 長
	今地 忠嗣	川上地域運営協議会長※	
	見國 豊	田万川地域運営協議会長※	
	岡 武夫	むつみ地域運営協議会長※	
	田村 武司	須佐地域運営協議会長※	副会長
	石田 吉文	旭地域運営協議会長※	
	村上 嘉昭	福栄地域運営協議会長※	副会長
	大島 昌子	学識経験者	
	笠内 榮子	学識経験者	
	田中 隆志	萩市保健福祉部長	
事	田中 早苗	大島保育園長	
	金子 利光	萩市民生委員児童委員協議会長	
	大嶋 宏史	萩市手をつなぐ育成会連合会長	
	宮内 昌子	元萩音訳サークル「ゆう」会長	
	田村 充正	家事調停員	
	藤田 佳久	税理士	
	林 壯助	学識経験者	
	板井 英文	学識経験者	
監			

※社協活動に地域住民の意見を反映し、きめ細やかな福祉サービスを実施するため、各事務所単位に地域運営協議会を設置しています。

見守り・支え合いの話し合いに補助します

私たちが生活している地域では、核家族化や高齢化、過疎化などにより様々な問題が起こっています。日常的な見守り・支え合い体制の充実を図るため、その問題について地域で解決方法話し合ったり、具体的な活動を行う町内会等に対して補助します。

●対象となる活動例

- ①一人暮らしの高齢者を地域住民が見守り、支え合うための話し合い・活動
- ②避難勧告や災害時の災害弱者を支え合うための話し合い・活動
- ③高齢者の通院や買い物を支え合うための話し合い・活動
- ④子どもの見守り、高齢者の交通事故防止を行うための話し合い・活動
- ⑤子育て中の親子、障がい者、高齢者などを対象とした「ふれあい・いきいきサロン」の立ち上げなど

●補 助 額 3万円上限（平成23年度のみ）

●申 込 み 本会備付けの申請書を提出（随時、受付）

●問合せ先 本所、各事務所



だまされました(笑)

岡村 文子さん
(明木・蔵屋／70歳)

13年前、認知症の姑を介護していました。気丈な姑のいつもと違う姿に、どう接したらよいか分からず、ついつい大きな声が出てしまう毎日でした。

認知症という病気や接し方についての啓発活動に協力してほしいと社協さんに頼まれ、いつの間にか「認知症キャラバン・メイト」になりました。

認知症をより分かりやすく伝えるためにメイト同志で知恵を出し合い、劇や紙芝居を取り入れています。もっと早くに認知症について正しく理解していれば、姑への接し方も違っていただろうなと、今、活動を通じて感じています。だからこそ、自分の経験を活かしながら伝えていけたらと思います。今ではだまされて、よかったかな…と。



ヤングパワーで頑張ります！

末益 絵梨さん
(田万川・松崎／30歳)

現在1児の母となり、6ヶ月の長男の子育てをしながら、江津地区で足ツボマッサージを主宰し、益田市まで出張サービスもしています。

また、多磨小学校スポーツ少年団女子バレーボールの指導をし、今年の4月からは、小学校の評議員もお引き受けしています。そして、障がい者や高齢者、子どもたちが交流するお月見コンサートやクリスマス会などにも、ボランティアとしてレクリエーションのお手伝いをしています。

人とひととのつながりを大切に、我が子もそのつながりの中でしっかり育てて行きたいと思います。人が好きだからやさしくでき、お互いを思いやれば心から大切にできる。そんな“こころの通う田万川”を願うひとりです。



少人数でも楽しい

岡 央代さん
(川上・佐古／77歳)

私は、国道沿いの高台にある団地に住んでいます。以前は、坂の下にある集会所でサロンを行っていました。年を重ね、坂を下るのも大変だったり、参加者も団地の方ばかりになったので、現在は我が家で行っています。

料理教室のお手伝いもしているので、サロンでも簡単なお菓子を出したりしています。おしゃべり中心のサロンですが、社協から教わった体操や「はぎ弁歯あわせ健口遅口言葉」を皆で声に出して毎回読んでいます。また、最近は認知症予防として脳トレのドリルや、昔子どもが遊んでいたボードゲームなどを取り出して、皆で楽しく過ごしています。

少人数なので、サロンを止めようかと思ったこともありましたが、皆さんが楽しみにされているので、微力ながら頑張っていきたいと思っています。



皆さんに支えられて

長岡 ミドリさん
(福栄・紫福市／77歳)

給食ボランティアを始めて、いつの間にか20年近くになります。体調を崩し、1度は辞めようと思ったこともありましたが、「おいしかったよ」という声や会員の皆さんに支えられて、今日まで続けることができました。今では、月1回のお弁当作りをとっても楽しみにしています。また、若い会員の方との交流は新しい発見もあり、自分自身の勉強にもなっています。

歳を重ねていく中、いきいきサロンや地域の活動にできる限り参加し、おしゃべりをしながら一緒に笑うこと。毎日欠かさず新聞を読むこと。ラジオ体操をすることなどを心がけています。

これからも地域の方との交流を大切にしながら、楽しく過ごしていきたいと思っています。



福栄



サロンリーダーが、転倒予防体操とゲームを習いました。今後、サロン活動がより楽しくなることでしょう。

むつみ



老人クラブでの健康体操。家に閉じこもらず外出し、健康維持に努めています。



萩



第17回萩・ふうせんバレーボール大会。多くのボランティアに支えられ、県内外から32チームが出場し、障がい者への理解と交流を深めました。



田万川



さわやかサロンで、高齢者の方が作られた七夕飾り。「家族みんなが健康でありますように」と、短冊に願いがこめられていました。

須佐



須佐地区の老人クラブの総会。脳卒中や、これから特に注意が必要な熱中症対策についての話を聞きました。



旭



旭身体障害者福祉会で樹齢千年の川棚クスノキを見に行きました。生命力あふれる巨木に、元気をもらいました。



善意銀行 ありがとうございます

本人の承認を得たもののみを掲載しています。
指定寄付は、掲載していません。
※平成23年5月1日～6月30日受付分（敬称略）

香典返し・玉串料返し・花料返し

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
萩			
秋枝 宏子	江向1区の3	夫／春一	金一封
藤田 文子	倉江の1	夫／壽吉	金一封
木村 幸男	川島1区の2	父／隆	50,000円
吉屋 政子	恵美須町の2	夫／眞治	金一封
森田 進	上野の1	父／恒雄	100,000円
相本 保子	平安古西区の2	夫／重明	金一封
佐々木和夫	松本市の2	父／弘	金一封
岡屋 由己	無田ヶ原口の1	父／義尚	金一封
井町 秀直	大島東	父／満	金一封
磯部 悦子	玉江浦1区の1	夫／法道	金一封
中村 克志	玉江浦2区の1	父／権一	金一封
村上 文子	川島2区の1	母／石川藤子	金一封
森本 壽代	玉江浦2区の1	夫／三政	金一封
梶本 雄晴	山口市大内御堀	父／利之	金一封
佐伯 良雄	土原1区の3	母／久子	金一封
堀 和正	玉江浦1区の3	父／博	金一封
伊東 勝	江向3区の3	母／保子	金一封
伊藤 久子	江向3区の2	夫／義彦	金一封
阿武 照男	周南市富田	父／磯吉	金一封
宮本隆太郎	堀内2区の2	父／昭夫	金一封
福永ヨシエ	中小畑の4	夫／三雄	金一封
恩村 秀子	西田町の1	母／澄子	金一封
山根 郁子	川島1区の1	夫／弘州	250,000円
堀 和子	川島3区の2	夫／彌三郎	250,000円
田村 和男	上野の1	母／さつ子	金一封
羽仁 郁夫	土原3区の2	妻／葉子	金一封
都志見久令男	堀内2区の4	妻／洋子	金一封
大久保久子	土原1区の2	母／米子	金一封
木村 繁明	河添の1	母／アサコ	金一封
河野 浩貴	椿	祖母／吉子	金一封
松浦 英治	大井浦上	父／伊助	100,000円
岡崎 洋二	平安古西区の2	母／ヒデコ	金一封
油谷 茂幸	中小畑の2	妻／文子	金一封
白井 大和	北古萩1区の2	祖母／マツエ	金一封
中村 英克	三見浦3	父／主税	金一封
木村 剛志	三見駅通り	父／宮明	金一封
八道 克己	川島1区の1	母／ヨシエ	金一封
渡邊 清	江向2区の2	父／要	金一封
折戸 健二	見島12区	母／トメ子	金一封
東野 郁哉	見島8区	父／芳行	金一封
土山 容子	浜崎2区の2	母／マツ	金一封
岡田 昭典	平安古東区の4	父／好只	金一封
林 洋昭	前小畑1区	母／やゑ子	金一封
松浦 幸子	大井浦下	夫／範四郎	金一封
古谷タミコ	平安古西区の1	夫／百合政	金一封

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
金子恵美子	倉江の1	夫／善路	100,000円
古見 和弘	中小畑の2	父／源藏	金一封
花村 弘子	堀内1区の2	義姉／桑原幸子	金一封
刀禰 伸一	大島猪之坂	母／ミツ子	金一封
上田あき子	後小畑の3	夫／光	金一封
相本 征之	江向3区の3	母／楊井虎子	120,000円
匿名			50,000円
川 上			
神崎 悦子	三徳	子／登史	50,000円
神崎 忠孝	埼玉県狭山市	母／房子	金一封
毎田 雅謙	山田	父／眞治	金一封
秋守 和哉	三徳	父／誠	金一封
田 万 川			
佐々木幸枝	要一	夫／輝生	金一封
津田 忠昭	松崎	父／徳美	金一封
原 尚徳	中組	父／久夫	金一封
福田 恵子	要一	夫／勉	金一封
野稲 節江	小川14区	夫／邦夫	金一封
伊藤 恵介	小川20区	母／イサヨ	金一封
む つ み			
山本 泰司	尾の坂	母／咲子	70,000円
大田 時子	中央	夫／修身	100,000円
熊野二美枝	湯の口	夫／満規	50,000円
山本津多子	佐波木	夫／博之	金一封
山根 都男	札の奥	母／満登	金一封
山本 保典	湯の口	父／平夫	金一封
永見 公一	中郷	父／生一	金一封
山中 亀	花見	父／美熊	金一封
末成 和子	大光寺	夫／秀夫	30,000円
須 佐			
喜代田 正	山根丁東	母／末子	金一封
岩本ツチエ	弥富8区	夫／學	金一封
斉藤 弥祐	中畑	妻／歌子	金一封
福島 和子	横屋丁	母／キヨ子	金一封
齊藤 武士	弥富9区	父／道次	金一封
恵本 榮一	浦中	母／テルコ	金一封
渡辺 寿一	松原	母／千代子	金一封
原田 久夫	弥富4区	母／ミチ子	金一封
佐伯 克美	宇部市松山町	姉／ハツエ	金一封
岩本 強	弥富12区	母／ふくゑ	金一封
旭			
木村 和枝	長瀬	夫／慶二	金一封
大本 和男	佐々並市	弟／文夫	金一封
山田 秀和	佐々並市	祖母／正子	金一封
吉廣 昌子	成川	夫／庚次郎	金一封
有田フミ子	角力場	夫／稔	金一封

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
福 栄			
水津 光生	小西見	父／俊男	金一封
砂川 京子	紫福殿川	母／多津子	金一封

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
大谷 鉄二	小野田	母／ミヨ子	金一封
中村 利子	押原	父／清	金一封

一般寄付

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
萩			
田川歌謡グループ			51,000円
匿名			514円
旧田中別邸管理人一同			5,000円
匿名			20,000円
国際ソロプチミスト萩			10,000円
匿名			10,000円
はたるまつりinやまだ実行委員会			金一封

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
田 万 川			
米倉 稔	江崎平原	見舞返し	金一封
田万川地域ゴルフ大会実行委員会			金一封
む つ み			
藤村 博	広瀬上		金一封
大光寺ホタル祭り世話人一同			金一封
旭			
古戦場サロン	古戦場		16,400円

(香典返し・一般寄付合計 106件5,341,264円、内指定寄付 41件1,330,000円)

物品寄付

内 容	ご芳名	ご住所
田 万 川		
紙おむつ	佐々木幸枝	要一
新生児用紙おむつ	匿名	
食器洗浄機	匿名	

内 容	ご芳名	ご住所
旭		
書き損じハガキ 5枚	匿名	
書き損じハガキ 80枚	匿名	

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

第6回しあわせ写真コンテスト

日常の生活の中にある笑顔、ふれあい、助け合い、交流など、しあわせ(福祉)を題材として撮影された写真の募集を行っています。

- 応募期間 7月1日～8月31日
- 規 格 ワイド4つ切版、4つ切版、A4版。
カラー、白黒、タテ、ヨコ位置は自由。
電子メールで応募の場合、JPEG形式、2MB以内
- 要 項 ①3年以内に撮影した自作品で、未発表のもの
②応募作品は、返却しません
③応募料は、無料
- 表 彰 入賞作品(15点程度)を選び、賞状及び副賞を授与。第7回萩市社会福祉大会(9月24日予定)で表彰。

- 応募先 カメラのアート商会、カメラのキタムラ萩店、萩市社会福祉協議会本所・各事務所

編集室

いよいよ夏本番となりました。海へ山へと、キャンプや海水浴が増えることでしょう。

高齢者や障がいのある方でも、誰でも海の中のすばらしい景色を楽しむことができるバリアフリーダイビングをご存知ですか。この第8回目の中国大会が、8月6日から萩市美萩海浜公園、羽島を舞台に行われます。大会には、岩手県から沖縄県までのスタッフ、参加者が集い、交流を深められます。

萩の海は本当にきれいなんですね。改めて、自分たちの住んでいる地域のよいところを考えたり、バリアフリーダイビングの世界に触れてみたいと思います。(た)

社協会員会費にご理解をお願いします。



- 一般会費 一口 500円
- 団体会費 一口 2,000円
- 法人会費 一口 3,000円
- 賛助会費 一口 1,000円

社会福祉の領域においても民間の社会福祉活動の強化が叫ばれ、行政任せにするのではなく、市民の側から自主的、主体的に福祉活動を興し、住民の力を結集して福祉コミュニティづくりをすすめる団体が社会福祉協議会です。これが、社会福祉協議会が「住民会員制」とをらせていただいている理由です。

社会福祉協議会は設立以来、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしたいという願いを叶えるために、地域住民一人ひとりが地域社会を構成する一員として、住みたいと思えるような風土や支え合いの仕組みづくりを住民の手で構築していくことを推し進めてきました。少子高齢社会や人間関係の希薄化が叫ばれている今、人とひとのつながりを再構築し、住民主体の助け合いの仕組みづくりを創っていくことが、今後ますます重要になってきています。

今年も、どうぞ趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

川上すぎのこ村で国際キャンプ

阿武川源流ワーク&スタディキャンプ 伊藤 丈二

川上すぎのこ村は、旧川上村立野戸呂小学校の閉校後、昭和58年に山口県で最初の障害者野外活動センターとして、旧川上村社会福祉協議会が再利用したことから始まりました。その後NPO法人が事業と設備を引き継ぎ、現在に至っています。

この「学校」には、「野戸呂小学校・中学校」で学んだ当時の児童・生徒や教職員の皆さん、野戸呂と江舟で子どもを育て学校を支えた地域の皆さん、「川上すぎのこ村」でキャンプをした皆さんなどにとって大切な思い出が詰まっています。

その「学校」を、国内外を問わず、いろんな人たちが集まることのできる「開かれた地域の学校」として、守り育てていきたいと思っています。長靴を履いて共に汗を流し、また食事を共にしながら多様な文化に触れ、国境や文化の違いを越えて共に生きることの楽しさや豊かさを実感する。そして、すべてのいのちが生かされる地球の未来を共に考える場としても活用していきたいと思っています。

そんな想いを込めて、8月9日から22日までの2週間、NPO法人N

ICE（本部は東京）とNGOネットワーク山口（構成13団体）との共催で「阿武川源流ワーク&スタディキャンプ」を開催します。キャンプでは敷地内の整備作業の他、お互いに学び合う機会もつくりまします。ベトナムの学生が海外から最初に参加申込みをしたので、今年はベトナムで生きる障がいを持った子どもたちの現状とその背景を学ぶ予定です。珍事が続出することと思いますが、野戸呂に暮らす人たちと共に「人間ビビンバ」をつくって、楽しく味わいたいと思っています。源流の地・野戸呂の一滴が、阿武川を通じ世界の海に交わり地球をめぐれることを願っています。



昭和41年4月18日撮影

今回のキャンプで、学校当時や過去のキャンプの写真、アルバム、文集、記録などの資料を「野戸呂・すぎのこ思い出コーナー」に展示します。